

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束を最小限にする努力はしているが危険防止や人手不足等を理由にやむを得ない拘束を行っているのは現状である。今後は拘束はしないという原則を徹底したい。	身体拘束の排除	本当に必要な拘束であるのか他の方法はないのか等を十分に話し合い排除に向けた取り組みをしていきたい。	12 か月
2	10	年に一度夏祭りと同様開催し家族会は開いているが参加人数がおもわしくなく協力していただけないのが現状である。より多くの家族の参加協力を目標に取り組みたい。	出来るだけ多くの家族の協力を得る。	今年度は春に特浴の内覧会の開催を予定している。ここ数年は夏祭りと同様開催していたので目先を変えて内覧会との同時開催とし特浴設置における部屋がえ等の理解を得る場としたいと考える。	12 か月
3	2	以前は中学校や小学校などから体験学習などの希望があり受け入れていたが最近では要求がない。また隣接する小学校との行き来も運動会位になっている。地域にアプローチをして溶け込んでいきたいと思っている。	地域への積極的働きかけ	小学校や中学校への働きかけ運営推進会議を利用し働きかける。	12 か月
4	36	トイレのプライバシー保護が保たれていない部分がある。ハード面での問題ではありいろいろな方法は実施してみたが安全面を重視すると実施できないものが多い。ただ今後も工夫は必要であると考えプライバシーの保護と安全面の両立を目指す。	トイレを改善しプライバシーの保護に努める。	職員間で話し合い創意工夫の実施。より良い方法でのプライバシー保護を目指す。	12 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。